

第五回 市長対談

武田保雄氏

8月15日、三重大学副学長で津市総合計画審議会会長の武田保雄さんをお招きし、平成25年度からスタートする津市総合計画後期基本計画の策定状況と津市の今後のまちづくりについて、前葉泰幸市長がお話を伺いました。

も多いですし、時間がゆつたりと流れ、本当に住みやすい街ですね。定年後もここで暮らすんじゃないかなと思っています。

市長 津市に愛着を持っていただいて、とてもありがたいですね。

審議会での議論

市長 現在、合併した時に作った「新市まちづくり計画」から7年目、総合計画は平成20年から5年目です。平成25年度からの5年間となる後期基本計画の前半3年間は「新市まちづくり計画」の中に入っており、10年間でやらなければいけないことをしっかりやり遂げる、そして後半の2年間はその先の議論ということになります。このあたりは審議の中で出ていますか。

武田 はい。次に向けての新しい計画ということを含んでいますので、この後期基本計画の策定は非常に責任重大で、委員の皆さんも良いものを作ろうと頑張っています。

市長 具体的な審議はどのように進んでいますか。

武田 今年の5月に前葉市長から諮問を受けた後、6月から全体での審議、分科会に分かれての審議を進めてきていて、今後は計画案の審議を進め、来年1月には答申を出す予定になっています。

市長 既に審議を進めていただいているということで、どのような議論が行われていますか。

武田 3.11の震災があって、やはり、防災の話題が多いですね。例えば、災害時に一人暮らしの高齢者にどう対応するのか。また、リーマンショック以降の非常に深刻な経済情勢をどのように解決していくのかといったことが出ています。

撮影場所／石水博物館(垂水)



武田保雄氏プロフィール

昭和22年生まれ。理学博士。専門分野は固体化学、応用電気化学（電池材料関連）。大阪大学理学部卒。名古屋大学工学部助手を経て、昭和54年に三重大学工学部助教授に就任。平成11年同大学工学部学部長を経て、平成23年4月より三重大学理事・副学長。今年5月より津市総合計画審議会会長。

津市の印象

市長 現在、武田会長には津市総合計画の後期基本計画の策定に向けた審議会の取りまとめ役をお願いしています。まずは武田会長と津市とのご縁をお伺いしたいのですが。

武田 昭和54年に三重大学に赴任することとなり、名古屋から津市に来ましたので、かれこれ30数年津市に住んでいます。

市長 津市の印象はいかがですか。

武田 食べ物もおいしくて自然